Part 1 基本情報

1. インドプロフィール

(1)正式名称	(和文)インド (英文)India
(2)政体	共和制
(3)首都	ニューデリー
(4)面積	328万7263平方Km (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)
(5)人口	12 億 1000 万人(2011 年国勢調査(暫定値))
(6)民族	インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
(7)言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
(8)宗教	ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.9%、 仏教徒0.8%、ジャイナ教徒0.4%(2001年国勢調査)
(9)略史	紀元前3000年頃インダス文明が栄える。紀元前3世紀マウリア朝隆盛(仏教)。 4世紀グプタ朝興る(ヒンドゥー教)。16世紀ムガール朝興る(イスラム教)。 1600年イギリスが東インド会社設立。1858年イギリスの直轄統治領となる。 1947年パキスタン、インドの2国としてイギリスから独立。
(10)在留日本人	5,554人(2011年10月)
(11)気候	国土が広大なので地域差が大きいが、首都ニューデリー近辺では、乾期(10月～3月。 うち12～2月は冬季)、酷暑期(4～6月。5、6月は最高気温が45度を上回ることもある。)、 雨期(7～9月。降雨が多く湿度が上がる)に大まかに分けられる。

【参考】
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2.業務のための基礎データ

(1)JICA事務所の概要(インド事務所)

住所 :2nd Floor, Dr. Gopal Das Bhawan, 28 Barakhamba Road, New Delhi
110-001 INDIA

連絡先 :国番号 :91
市外局番:011
電話番号 :+91-11-4768-5500
FAX :+91-11-4768-5555
URL :http://www.jica.go.jp/india/index.html

執務時間 :9:00～17:00(昼休み13:00～14:00)

休日(2013年) :土曜日、日曜日及び下記祝日
1月 1日 New Year Holiday
1月 2日 New Year Holiday
1月 3日 New Year Holiday
1月25日 Id-E-Milad
3月27日 Holi

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

3月29日 Good Friday
4月19日 Ram Navami
4月24日 Mahavir Jayanti
8月 9日 Idu'l Fitr
8月15日 Independence Day
8月28日 Janmashtami
10月 2日 Mahatma Gandhi's Birthday
10月16日 Id-ul-Zuha (Bakrid)
11月14日 Muharram
12月25日 Christmas Day
12月30日 Year End Holiday
12月31日 Year End Holiday
※調査団や出張者の派遣を避けるべき期間
・Dussehra前後 特にカルナータカ州、西ベンガル州は要注意
・Diwali前後

事務所までの交通
【空港から】
空港からは車で約1時間。空港にはタクシーカウンターがある。空港にたむろしているタクシー運転手や旅行業者が絡んだ盗難事件などが旅行者を対象として散発しており、私用であっても、できる限りあらかじめ空港からの送迎を確保しておくことが望ましい。
【空港以外から】
該当情報なし。

(2)JICA事務所周辺地図

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

(3)日本との時差、サマータイム

日本との時差 ：－3.5時間

サマータイム ：実施していない。

(4)祝日、官公庁の休日

祝日（2013年）：

1月25日 Milad-Un-Nabi / Id-E-Milad
1月26日 Republic Day
3月29日 Good Friday
4月24日 Mahavir Jayanti
5月25日 Buddha Purnima
8月 9日 Idu'l Fitr
8月15日 Independence Day
10月 2日 Mahatma Gandhi's Birthday
10月13日 Dussehra
10月16日 Idu'l Zuha (Bakrid)
11月 3日 Diwali (Deepavali)
11月14日 Muharram
11月17日 Guru Nanak's Birthday
12月25日 Christmas Day

中央省庁の休日 ：上記祝日、オプションリストから2日間及び土曜日、日曜日

地方省庁の休日 ：各地域により祝日が異なり、祝日と日曜日が休日。

[参考] インド政府公務省職員訓練局HP
http://india.gov.in/sites/upload_files/npi/files/govt_holiday_list_13.pdf

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

(5)ビジネスアワー　官庁 ： 9:00～17:00（官庁により若干異なるものの、実際の始業時間は 10:30～）
銀行 ： 10:00～14:00（土曜10:00～12:00日曜休み。銀行により若干異なる。）
商店 ：商店街により異なる。

(6)言語　業務 ：英語。
ホテル、買い物、食事 ：英語が通用する。市場、一般商店などではヒンディー語をはじめとしたインド諸言語が用いられる。

(7)通貨　通貨 ：インドルピー（Rs.）
（1 インドルピー＝100 パイサだがパイサはほとんど使用されていない）

(8)通貨レート　為替レート ：1 米ドル＝61.495 インドルピー（2013 年 10 月 31 日現在）
1インドルピー＝1.5978円（同上）
最新の為替レートは以下で確認のこと
[参考]
ブルームバーグの為替レート計算表
http://www.bloomberg.co.jp/tools/calculators/currency.html
インド連邦準備銀行（Reserve Bank of India）の為替レート
http://www.rbi.org.in/home.aspx

(9)関係機関　【在外日本関係機関】

・在インド日本大使館
住所：Plot No.4&5, 50-G Shantipath, Chanakyapuri,New Delhi 110021
電話：(11)2687−6581～3、(11)2687-6564
FAX番号：(11)2688−5587
勤務時間：9:00～17：30
昼食休憩時間は13：00～14：00
休館日：土曜、日曜

・在コルカタ総領事館
55, M.N. Sen Lane, Tollygunge, Kolkata 700 040, India
電話: (33) 2421-1970
Fax番号: (33) 2421-1971

・在チェンナイ総領事館
No.12/1, Cenetoph Road Ist Street,Teynampet, Chennai 600 018,
電話: (44) 2432-3860～3
Fax番号: (44) 2432-3859

・在ムンバイ総領事館
No.1, M.L. Dahanukar Marg, Cumballa Hill, Mumbai-400 026, India
電話: (22) 2351-7101
Fax番号: (22) 2351-7120

・在バンガロール出張駐在官事務所
1st Floor, Prestige Nebula, No. 8-14, Cubbon Road, Bangalore-560001
電話:(80)4064-9999、(80)4064-0111～3
FAX:(80)4166-0114

・JBICニューデリー事務所

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

住所：1st floor, The Metropolitan Hotel New Delhi,
Bangla Sahib Road, New Delhi, 110001, India
電話：(11)4352−2900
FAX番号：(11)4352−2950
勤務時間：9：00〜17：00（月曜〜金曜）
昼食休憩時間は13：00〜14：30

・JETROニューデリー事務所
住所：4th Floor, Eros Corporate Tower, Nehru Place, New Delhi-110019
電話：(11)4168-3006
FAX番号：(11)4168－3003
勤務時間：9：00〜17：00（月曜〜金曜）
昼食休憩時間は13：00〜14：00

・国際交流基金 (Japan Foundation) ニューデリー事務所
住所：5-A, Ring Road Lajpat Nagar-IV New Delhi-110024
電話：(11)2644-2967
FAX番号：(11)2644-2969

・デリー日本人会（Japanese Association Delhi）
住所：C/O, AVALON COURT YARD.
Khasra, No.365 & 383, Sultanpur,New Delhi - 110 030 India
電話：（11）6472－4448
営業時間：9:00〜17:00（月曜〜金曜）

・インド日本商工会（Japanese Chamber of Commerce & Industry in India）
住所：Flat No. 106, Nirgiri Apartment, 9 Barakhamba Road,
New Delhi – 110001
電話：（11）4358-6321

【インドの窓口官庁】

・大蔵省経済局（Department of Economic Affairs, Ministry of Finance）
住所：North Block, Lok Nayak Bhavan, New Delhi
電話：(11)2309 - 2373/2309

（10）有用サイト

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html （外務省「各国・地域情勢」）
http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html （外務省「渡航関連情報」）
http://www.forth.go.jp/ （海外渡航者のための感染症情報）
http://www.in.emb-japan.go.jp/ （在インド日本大使館HP）
http://www.delhinihonjinkai.in/ （デリー日本人会）
http://gekkanchalo.com/ （月刊Chalo!）

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

Part2 生活情報

＊特に記載のない限り、JICA事務所のあるニュー・デリーの情報が中心になっています。

1. ホテル、住宅

1-1 ホテル

高級ホテルの例は以下のとおりである（詳細はイエローページを参照）。通常、宿泊料金には各種税が加算される。食事にはVAT（付加価値税）やService Tax等が加算される。なお、多くのホテルは主要なクレジットカード（VISA、Master Card）が利用可能である。

10月から3月までの観光シーズンは値段が上がり、予約が取りにくくなるため、早めの予約が必要。特に近年、ホテル宿泊料の値上がりが激しく中級ホテルは少ない。

（高級ホテル）

Yellow Page

・The Metropolitan Hotel Nikko New Delhi（メトロポリタン・ホテル）

・The Park（パーク・ホテル）

・Taj Mahal（タージ・マハル）

・Shangri-la Eros Hotel（シャングリラ・エロス・ホテル）

1-2 住宅事情

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」5. 住まい

http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_05.htm

長期間滞在と短期間滞在では、住宅事情は異なる。短期間滞在の場合は、主にホテル、ゲストハウスを利用することになる。

一方、長期滞在者は（特に家族同伴の場合）、一般住宅を借り上げることになるが、快適に生活できる住宅の確保はなかなか難しい。一般に、現地の住宅には家具、電気製品、ガス台などはついておらず、日常生活に必要な水、電気、ガスなどのインフラ整備も概して不十分である。家主と賃貸契約を締結した後に、タンクの貯水量が十分でないことが判明したり、電気系統の問題が発生したりすることも多々ある。

治安面はそれほど問題ないが、住宅を探す際には、隣や裏が空き地や公園でないこと、またグリル（鉄格子）がついている家屋を見つけることも、安全のために必要なことである。

住宅の契約は1年以上の前払いが要求される場合が多い。通常、家具をはじめ冷蔵庫、冷凍庫などの生活上最も必要な電気製品は設置されていないので、借り手がすべて調達しなければならない（レンタルは可能）。ガスはプロパンガスで(一部都市ガスのある地域もある)、その容器（シリンダー）の権利の取得は、前任者から引き継ぐことが原則であるが、新たに取得することも困難ではない。電

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

話の権利は、最近は民間会社の参入もあり、電話の新規設置は容易になってきている。サービスアパートメントもある。

1-3 住宅の探し方

在留日本人の知人の紹介に基づいて不動産会社に照会してもらうとよい。現地にも住宅仲介業者はたくさんある。近年賃料が大幅に上昇しており、すべてにおいて満足のゆく住宅に入居することは困難である。地道に粘り強く住宅探しをすることが求められる。

1-4 住宅選定上の留意点

＜居住地区の選定＞

・安全：家屋に鉄格子の装備などが設置してあるか、また、空き地や公園に隣接していないかなどの確認。居住ブロックにゲートがあるほうが望ましい。

・衛生：近くにゴミ集積場や河川（用水路）がないことを確認。シロアリ、ゴキブリ、ネズミなどに注意。

・環境：周辺環境について家主や地域の住民の評判の確認。道路状況の確認。交差点の近く（騒音、排ガスのため）、地域の集会場および学校の近く（交通渋滞、安全上の問題のため）は避けたほうがよい。またテロ対策のため英米国やイスラエル、イスラム教などの関連施設、宗教施設の周辺も避けたほうがよい。

・通勤、通学上の利便性：職場、学校までの距離、時間の確認。

・インフラ：停電、断水の状況の確認（地区により状況が大きく違う）。

＜不動産会社への照会＞

・複数の不動産会社と接触する。

・一戸建てかフラット（共同住宅）か：最上階は避ける（夏の暑さ対策）。

・部屋数、大きさ、バス・トイレの数：1部屋は物置用として確保。

・予算、支払い条件：余裕をもって見積もった額を提示するとあとが楽である。

・前の居住者の確認：転居した理由を確かめる。

・電気容量などの確認：エアコンは1機につき4kW必要なので、3機同時に使えるくらいの容量がないと生活しにくい。無理をすると配電盤などの火災を起こすことがある。大容量電源コンセントは、冷蔵庫・冷凍庫の数を考慮する。

・地下、屋上タンク：貯水量の確認、ポンプの状況（故障がちでないか）の確認。タンクの状況（亀裂、さび、汚れ）を確認。

・温水器（Geyser：ギザ）の容量：50リットル以上が望ましい。

・使用人用居室の有無：築年数の浅いものでは設けられていないのが一般的。

・車庫の有無、ドライブウエイ（家へ通じる私設車道）：ドライブウエイは家主と別であることが望ましい。

・警備員：24時間体制での警備員配置が望ましい。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

・雨漏り：修理不能の場合もある。

＜物件の選定＞

一度は同居者（家族）全員で物件を下見したほうがよい。現地の住宅は、2階建てから4階建てが多く、そのいずれかの階に家主が住んでいることもある。この場合には、電気や水道のメーターやタンクが他階と別になっていることを確認する必要がある。住宅全体のセキュリティガードを雇用しているかも確認する。

1-5 家電

（1）電圧

電圧220～240V、周波数50Hzである。日本から持参した製品を使用するには変圧器が必要である。

（2）コンセントの形

コンセントの形状は3ピン丸型または2ピン丸型である。日本製品を使用する場合にはアダプタープラグが必要である。

（3）家電製品

家電製品（洗濯機、エアコン、テレビ、ビデオデッキ、携帯電話など）は、近年は性能のよい現地製のものが出回っている。リースもできる。

変圧器（スタビライザーはインドで調達可能）は、日本から持参した方がよい。また、ホットプレート、空気清浄器、電気炊飯器、パン焼き器、電気式魚焼きグリル、こたつ、ホットカーペット、ミシンなどは現地で調達しにくい。これら日本製の家電製品は、前任者や帰国する在留日本人から購入できることもある。（Yahoo!groupのYuni-Netに登録すると在インド外国人が使用人や家電製品、住宅の情報等を共有している。）

2. 衣料、理容

2-1 衣料全般

（1）一般事情

インドの夏は期間が長い（4～9月）ので、夏服は長期間着用することになる。酷暑季（5～6月）には気温が摂氏45度を上回ることもある。ただし、ホテルなどの室内では冷房がかなり効いていることがあり、上着が必要となることもある。

また、冬季（12～2月）には、最低気温が摂氏2～3度まで気温が下がるため、合服または冬服も必要となる。冬期の出張などの際は、コートがあれば便利である。

衣料品は廉価であり、普段着として使用する分には問題はない。また、注文服も手軽に作ることができる。

（2）日本から持参したほうがよい衣料

背広をはじめ、日本で使用していた衣料はひと揃い持参するとよい。また、婦人のストッキング、紳士・婦人・子供用靴下は、入手可能であるが、品質が劣るので多めに持参したほうがよい。靴は普段履きであれば、入手可能である。しか

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

し、スリッパはあまり種類がないので、持参したほうがよい。子供の靴は入手困難である。

（3）現地で調達したほうがよい衣料

子供のTシャツやポロシャツ、大人の普段着などについては、種類も豊富に出回っており、現地での入手は可能である。

（4）その他の留意点

子供は、日本人学校で盆踊り大会などの行事があるので、浴衣一式を持参するとよい。日本人学校HPを参照。

2-2 礼装

（1）パーティー

男性は背広があればよい。女性の場合は、ワンピースやツーピースでよい。フォーマルドレスは持参すると便利であるが、着る機会はあまりない。

（2）式典

男性、女性ともパーティーの場合と同様である。

（3）冠婚葬祭

男性、女性ともパーティーの場合と同様である。衣服の色に関する決まりについては、宗教、地域などにより大幅に異なるが、一般的には、（特にヒンドゥー教徒の場合）赤は結婚、白は葬式の色とされている。

（4）その他の留意点

女性の和服は特別な場合を除き、必ずしも持参する必要はない。

3. チップ

3-1 チップ事情

（1）習慣の有無

あまり必要ない。

（2）各種サービスに対するチップ

高級ホテルなどは、荷物1個につき10ルピーが適当。レストランなどは料金の5～10%が適当である。ただし、請求書に含まれている場合があるので確認が必要。

4. 食生活

4-1 外食

（1）一般事情

近年、デリーでは地元のインド人の間でも外食の習慣が普及したこともあり、ホテル以外でも日本人が利用できるようなレストランができてきた。また、気軽な喫茶店やカフェ（Starbucks、Balista、Café Coffee Dayなど）、ファストフードのチェーン店（マクドナルド、ドミノピザ、ピザハットなど）も数多く存在するようになった。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

Yellow Page (2)飲食店

レストランの夕食オープン時間は7:30～8:00ごろである。高級レストランは週末等混む場合もあるので、予約をしたほうがよい。日本人の間でよく利用されている飲食店はイエローページを参照。

4-2 食料

(1)一般事情

一般の食料は豊富に出回っている。経口感染症の病原対策として、食物には十分に火を通してから食することが肝要である。また、野菜については、農薬、肥料などが付着していることがあるので、入念に水洗いするなどの注意が必要である。日本食品の入手は一般のマーケットでは困難であるが、日本式スーパーマーケット(大和屋)などで若干入手できる。

(2)主な食品の出回り状況

＜米＞

豊富に出回っている。一般に入手可能な米は、いわゆるインディカ米といわれる粘りけのない米である。中でも特に長い「バスマティーライス」が薫り高く、ビリアニ(インド風炊き込みご飯)や焼き飯に向いている。日本米は大和屋など一部のマーケットで入手できる。

＜パン＞

食パンは、一般マーケット、菓子パンなどは主要ホテルや主要マーケットのベーカリーで入手可能である。

＜肉類＞

鶏肉はインドでは最もよく食べられる肉で、マーケットで入手可能である。マトンも豊富に出回っている。豚肉はチキンやマトンほど一般的ではないが、入手可能である。牛肉は、インド人の大多数を占めるヒンドゥー教徒が食べないため、簡単には入手できない。ベーコン、ソーセージなどの加工品はある。

＜野菜＞

季節変動はあるが、入手可能。日本野菜も入手できるようになってきた。一般的な野菜としては、ジャガイモ、トマト、カリフラワー、オクラ、ホウレンソウ、キュウリ、グリンピースなど。最近では、白菜、ブロッコリー、ベビーコーン、アボカド、ズッキーニ、ニラ、キノコ類なども大きなマーケットに出回るようになった。

＜果物＞

バナナ、リンゴ、ミカン、マンゴー、ライチ、パパイア、ブドウ、洋ナシ、プラム、イチゴ、スイカ、メロンなど季節変動はあるが豊富である。

＜魚類＞

デリーで入手可能な魚類は、大半がボンベイなどから輸送されたものである。冬季(10～2月ごろ)にはマナガツオ、アジ、インドサーモン、エビなどが豊富に出回っているが、鮮度に注意が必要である。特に、酷暑季(4～6月)の魚類購入は、輸送状態に問題があるため注意したほうがよい。魚の缶詰ではインド産ツナ缶、

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

外国産オイルサーディンなどが一般のマーケットで入手可能。

＜乳製品＞

牛乳、チーズ、バターなどは一般のマーケットで入手できる。

＜調味料、食用油＞

インド料理に多く使われる「マサーラー」は豊富にある。マサーラーは主に植物の実や種、根から作られた香辛料であり、種類も多種多様である。日本の調味料は、しょうゆは一部のマーケットで出回っている。みそ、みりん、ウスターソースなどは大和屋で入手可能。

＜酒類＞

インド国産のビール、ウイスキー、ワイン、ラム、シャンペンなどがある。外国の酒類も一部の酒屋では入手可能。

＜食用油＞

サンフラワー油、落花生油などがあり、使用にはなんら問題ない。

＜飲料水＞

水道水を直接飲用することはできない。水道水はいったん濾過することが必要である。浄水器を購入するとよい。ミネラルウォーターの入手は可能である。

（3）食料の入手

主な市場、スーパーマーケットは、以下のとおりである。

＜市場（マーケット）＞

Yellow Page

・I.N.A. Market（アイ・エヌ・エイ・マーケット）

・Sarojini Nagar Market（サロジニ・ナガール・マーケット）

・Khan Market（カーン・マーケット）

・Defence Colony Market（ディフェンス・コロニー・マーケット）

＜スーパーマーケット＞

・Modern Bazar（モダン・バサール）

・Le Mache（ル・マルシェ）

・Morning Store（モーニング・ストア）

・Yamato-ya（大和屋）

4-3 食器、調理器具

（1）食器、調理器具などの入手

ほとんどの電気製品（冷蔵庫、トースター、ミキサー、電子レンジなど）は、現地製が入手可能であり、品質も年々向上してきている。故障した場合にも、現地製品のほうが修理は容易である。現地の電圧は220～240Vと電圧変動が大きいため、冷蔵庫などの電気製品には電圧安定器（スタビライザー）を接続して利用することを勧める。電圧安定器は現地で入手可能。炊飯器は、日本製に類似した現地製のものも出回っているが、品質は多少劣る。

包丁、まな板、鍋、フライパン（テフロン加工もあり）は現地製で十分間に合う。圧力釜も普及しており、安価で便利である。皿、コップ、フォーク、スプーンなどは

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

現地製が豊富に出回っている。和食器は入手できないが、類似の陶器製品で間に合わせることは可能である。アルミホイルは現地製でよいものが出回っている。食品用ラップも現地製があるが、厚手でやや使い勝手が悪い。

食器、調理器具は、主要マーケットほか、ショッピングモール内の大型スーパーでも入手できる。近年デリー近郊のグルガオン・ノイダ地区に大規模なショッピングモールが増えている。ショッピングモールについてはイエローページを参照。

Yellow Page

（2）日本から持参したほうがよい食器、調理器具

上述の電気炊飯器のほか、はし、すり鉢、すりこぎなどは入手できないので持参したほうがよい。

5. 生活用品の購入

5-1 家電製品

電化製品（冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、エアコン、マルチシステムテレビ、マルチシステムビデオデッキなど）については、近年性能のよい現地製のものが出回っている。リースもできる。家電製品は、上記ショッピングモールや主要マーケットの家電製品店などで購入できる。

5-2 家具

基本的なものは現地調達が可能である。Panchcuiana Road（パンチクイナ・ロード）、Kirti Nagar（キルティ・ナガール）などの家具店街、Mehrauli-Gurgaon Road（メルリーグルガオン・ロード）沿いなどに家具店が多数ある。

5-3 日用品、雑貨

ほとんどの日用品や雑貨は、市場やデパート、主要マーケットで入手可能である。文房具もほとんど入手できるが、日本人学校で必要な学用品の一部はインドで入手できないので、日本から持参すること。（日本人学校HP参照）

6. 金融機関

6-1 金融機関

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」2. お金
http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_02.htm

（1）銀行

デリーにある日本の銀行は以下のとおり（詳細はイエローページを参照）。

Yellow Page

・三菱東京UFJ銀行

（2）口座の開設と閉鎖

ドル口座は開設できないが、外国人の場合は当座預金（Current Account）、預貯金（Saving Account）のルピー口座を開設することが可能である。口座開設には住所証明が必要である。海外からドルや円などで送金された場合は、自動

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

的にルピーに換金されてルピー口座に入金される。定期的に口座開設名義人あてに口座の支出明細ステートメントが送付される。銀行によってはインターネットバンキングも対応している。銀行口座閉鎖には時間がかかるため（数週間かかることも）余裕をもって手続きを始めること。

（3）小切手

現地では支払いに小切手がよく利用されている。口座開設に伴って小切手帳が支給される。

（4）換金方法

ドル、円ともに、現金やT/Cからルピーへの換金が可能である。銀行、または宿泊先のホテルまたは市井の両替商で換金できるが、その際、パスポートを提示する必要がある。Citibankなど日本で開設した銀行口座の海外利用可能なキャッシュカードを利用してATMからの現地ルピーで引き出すことも可能（ただし、1回の引き出し額に制限がある）。

6-2 クレジットカード

ほとんどのクレジットカードが使用可能であるが悪用される可能性もあるため明細書を確認すること。

7. 交通事情

7-1 交通手段

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」3. 交通
http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_03.htm

（1）一般事情

インドの大衆的な乗り物は、オートリキシャ、バス、タクシー、列車、メトロなどである。オートリキシャ、タクシーにはメーターが備え付けられているが、乗る前に口頭で値段交渉をしなければならないことが多い。最近では電話やインターネットで予約をして呼び出す無線タクシーも人気である。

オートリキシャは三輪車で、安定が悪いため、ほかに交通手段がない場合を除いて利用は勧められない。列車は旅行に便利であるが、安全上の問題があることは否めない。

近年路線が充実してきたメトロは、日本の円借款と技術を導入して作られ、デリー中心部と郊外、デリー近郊のノイダ（ウッタル・プラデーシュ州）やグルガオン（ハリヤナ州）を結び、デリー市民に欠かせない足となっている。車両や駅は最新型で、日本の地下鉄にもひけをとらない。便利、快適、かつ格安の交通手段である。夜間（21時以降）を除き、全般的には安全であり、女性専用車両もあることから、日本人でも利用する人は多い。

（2）自家用車を利用する場合

自動車の通行は、日本と同じ左側通行であるため違和感はない。また、デリー

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

の主要道路は道路幅も広く、概ね整備されている。しかし、デリー等の大都市では道路容量に対して車両が多いため、朝夕のラッシュはひどい。また、交通マナーが非常に悪い（特に信号無視が多い）。自ら運転せず、運転は運転手に任せたほうがよい。ニュー・デリー、オールド・デリーともに道路はバス、トラック、タクシー、オートリキシャ、オートバイ、自転車など、速度の違う乗り物が、あたかも競走しているかのように雑然と走行している。また、動物や歩行者の突然の飛び出しもあるので、通行には細心の注意が必要である。バス、トラックは交通ルールを無視して走行する場合が多いので、特に注意が必要である。

（3）レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは、日本のように車だけを貸し出すケースは少なく、運転手付きで乗用車を利用することが多い。主なレンタカー会社は以下のとおり（詳細はイエローページを参照）。

Yellow Page ・ORIX Auto and Business Solutions Ltd

（4）地図

簡単なもの（『Eicher City Map』など）であれば、ホテルや町の書店で入手できる。また、主要都市の地図も書店で入手が可能。観光客向けの無料地図も空港やホテル等で入手可能である。

7-2 交通事故、盗難

（1）対処方法

加害者、被害者の別を問わず、負傷者を病院に運ぶこと。次に、現場はできるだけそのままにして（現場での議論などで長居しない）最寄りの警察に事故の報告をすること。さらに、事故の程度により加入保険会社へ届ける必要がある。

事故現場にはやじ馬がすぐに集まり、これらの集団は、外国人がインド人や牛などを死傷させ、その救助措置に手間どっているのを見ると感情的に激昂し、しだいに暴徒化する場合がある。したがって負傷者の救助については無理をせず、現場の雰囲気から身の危険を感じたら、いち早くその場を離れ、そのまま最寄りの警察に駆け込み、事故の届けをすることも考えたほうがよい。

事故現場では、相手方の運転手名、会社名、住所、電話番号、車両ナンバーなどをメモし、また、事故を取り扱った警察官の所属、役職、氏名、電話番号などを確認しておくとよい。

（2）救急病院

緊急の場合は、救急医療を行っている下記の医療機関に直接電話し、病院から救急車を派遣してもらうか、もしくは自ら病院へ行かなければならない。

・Indraprastha Apollo Hospital（アポロ病院）

・Max Hospital（マックス病院）

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

7-3 交通違反

（1）交通法規

基本的には日本の交通法規とほぼ同じであるが、ほとんど守られていないので、原則として自分では運転しないほうが無難である。日本と異なる具体的な例としては、信号が赤でも車も人も交差点に入ること、道路（中央分離帯が多い）に牛や物乞いがいること、幹線道路であっても歩行者の横断があることなどである。いずれにしろ、交通違反は常に行われていると思って細心の注意を払って運転をする必要がある。重要なことは、ルール無視のドライバーが多いなかで、あわてず、焦らず、忍耐強く安全運転を心がけることである。

逆に歩行者の立場として気をつけるべきことは信号を過信しない、歩行者優先の運転をしていないことを意識して道路を横断する、横断するのかしないのかの意思表示をしっかりとすることである。

（2）罰金、罰則

スピード違反（制限速度は場所により異なるが、ふつうは時速50km）、信号無視、運転中の携帯電話の使用、駐車違反、排気ガスチェック（Pollution Check）を怠った場合、シートベルト（前座席）着用を怠った場合には罰金がある。

8. 通信

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」4. 通信
http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_04.htm

8-1 電話

（1）国内電話

国内主要都市には直接ダイヤルできる。主な都市の市外局番は、以下のとおりである。

・デリー　:011
・ムンバイ　:022
・コルカタ　:033
・マドラス　:044

（2）国際電話

国際電話は、ISD（International Subscriber Dialling）が自宅の電話に設置されていれば、直接ダイヤルできる。また、市内のSTD/ISDブースでかけることもできる。

日本へかける場合は、00（国際電話識別番号）-81（日本の国番号）-市外局番（最初の0をとる）-相手先電話番号となる。

（3）携帯電話

携帯電話は普及しており、現地で簡単に調達できる。主な携帯電話会社は、以下のとおりである。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

・Airtel
・TATA Docomo
・Vodafone
・Reliance
・MTNL/BTNL

8-2 郵便

（1）一般事情

一般の郵便は、日本から現地まで3～4日、逆に現地から日本までは8～10日くらいで到着する。はがきや封書などは市内の郵便局に持参するか、または市内のポストに投函する。インドから海外に送る際の料金は以下を参照。

http://www.indiapost.gov.in/Postage/Foreigntariff.html

急ぐ場合にはEMSもしくは民間クーリエ（国際宅配サービス）を利用するとよい。

（2）課税

日本から現地にビデオテープ等を送付する場合は、少量ずつ送付したほうがよい。一度に大量に送ると、商業用とみなされ課税される場合がある。

（3）国際宅配サービス

Yellow Page OCSがよく利用されている（「（1）一般事情」の項を参照）。他にFedEx、DHLも利用が可能。

9. コンピューター

9-1 ハード、ソフト

（1）調達の方法

パソコンおよび周辺機器の入手は可能である。ただし、日本語ソフトについては代理店にない場合が多く、シンガポールなどから取り寄せることになり、時間がかかる。

（2）使用の際の注意

現地の電圧は220～250Vだが電圧変動が大きいため、電圧安定器（スタビライザー）を接続して利用すること。電圧安定器は現地で入手可能。

大きなホテル内のビジネスセンターからは、電子メールの発信も可能である。接続コネクターの形状は、日本と同じモジュラージャックであることが多い。

10. 出入国手続き

10-1 入国

（1）空港施設概要

デリー市内中心部から南西方面に車で約1時間の地点に、インディラ・ガンディー国際空港がある。入国時には、通常、旅客機からの専用通路を通って空港ビル内に入り（2階）、エスカレーターを通じて1階に下りると入国審査ゾーンとなっている。入国審査後、預託荷物をターンテーブルから降ろし（預け荷物が出てくるま

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

で時間がかかることがある）、税関検査を通って、出口に出る。空港内（1階）の出口付近に、大勢の出迎え者がプラカードを持って待機している。なお、出国ロビー（チェックインカウンター、出国審査場）は空港ビルの2階部分にある。インディラ・ガンディー国際空港には格安航空会社の国内線（IndiGo、GoAir、SpiceJet）が発着するターミナル1と、国際線と国内線（上記以外の航空会社）の発着するターミナル3 が稼働しているので利用する航空会社がどちらから発着するか注意が必要である。

（2）入国手続き書類

入国審査には、入国カード（通常、機内で配られる税関申込書を含む）、パスポート、ビザが必要である。事前にビザ取得が必要であり、オンライン手続きと日数がかかることに留意する必要がある。

（3）入国審査

特に問題はない。ここ数年、入国審査にかかる時間も少なくなり、比較的スムーズである。審査の際に通関用カード（入国カードの半券）が戻されるので、確認してからカードに必要事項を記入し、署名をして税関検査所出口付近の税関係員に渡す。

（4）税関検査

申告するものがない場合は、通関用カードを係員に渡すだけで問題ない。しばしば荷物の抜き打ち検査が行われる。

（5）空港内での留意点

空港内で盗難、病気、事故が発生した場合、ただちに近くにいる航空会社の職員か空港職員に相談する必要がある。また、万が一、ビザやパスポートの問題が発生した場合に備え、事務所関係者の電話番号は、メモなどに記して常に携帯しておく必要がある。

（6）空港からの主な交通手段

タクシーが利用できる。空港ビル外にタクシーのカウンターがあり、そこで申し込む。

インディラ・ガンディー国際空港HP

http://www.newdelhiairport.in/traveller.aspx

（7）その他の留意点

空港にはタクシーカウンターがあるが、必ずしも安全とはいえない。また、白タクは絶対に利用しないこと。たとえ私用であっても、可能な限り空港からの送迎を事前に確保しておくことが望ましい。

10-2 出国

（1）出国時の概要

空港へ入る際、警官から航空券とパスポートの提示が求められる。

搭乗手続きの際には、必ず手荷物用のタグをもらい、すべての手荷物につけておくこと（セキュリティーチェックで必要となる）。また、搭乗手続きを終えたら出

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

国カードに必要事項を記入し、出国審査を受ける。そこでパスポートにスタンプを押してもらい、その後セキュリティーチェックへと進み、搭乗券、手荷物タグにスタンプを押してもらう。

（2）チェックイン

国際線は、フライトの予定出発時刻の2時間前には空港に到着し、チェックインを済ませること。国内線は、フライトの予定出発時刻の1時間前にチェックインする。

（3）空港利用税

現在空港利用税等が課される。これらの空港利用税はすべてチケット代に含まれている。

（4）その他の留意点

持ち出し可能な品目について確認すること。象牙、アンティーク、動物の皮の持ち出しなどが禁止されている。

10-3 帰国手続き

（1）車の処分

一般市場には、中古車の買い手（中古品の取り扱い会社、旅行エージェント、不動産関係のエージェントなど）が多数存在する。しかし、いずれの買い手であっても、売却の前に、中古車の鑑定業者に売却価格の相場を見積もってもらうことが望ましい。また、一般市場で売却する場合には、帰国直前に多額のルピーを手にすることになり、また、売却後クレームをつけられることもあるので、できれば後任者に売却することが望ましい。車の所有権の移転手続きについては、デリー市運輸当局が所管しており、所定の用紙に記入の上、同運輸当局に申請する。

＜引越し会社（運送会社）＞

・Japan Express

・Nippon Express（日通）

また、引越し以外で日本に荷物を送る場合、郵送小包、EMS、クーリエ（OCS、DHL等）などの手段がある。クーリエは早くて確実だが、料金は高い。また、それぞれ重量によって料金が異なる。

（2）住宅の明け渡し

インドの場合、基本的には家賃は1～2年間前払いなので、契約期間内に自分の後任者が赴任する場合、後任者が同じ住居を引き継ぐことになる。この場合、帰国日程決定後、ただちに家主に連絡し、内装の手直しを依頼する必要がある。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

11. 治安、緊急時の心得

※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

11-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

カシミール紛争、アッサム州民族間対立のほか、ヒンドゥー至上主義者によるキリスト教徒および施設への暴力事件、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒の対立、辺境地域での独立運動など、多様性国家の宿命であるコミュナリズムに起因する暴動はあとを断たず、インド全体としては、治安は悪化の傾向にある。これらのテロは、外国人をターゲットにすることはほとんどないが、一般の市民を巻き込む無差別な犯行であることが多く、被害に巻き込まれないよう日ごろから注意が必要である。特に、不審物には注意し、車の下回りの点検もすること。また、テレビ、ラジオ、新聞などの情報にも注意することが必要である。

(2)対処法

爆弾テロは、外国人をターゲットにすることはほとんどないが、一般の市民を巻き込む無差別な犯行であることが多く、被害に巻き込まれないよう注意(マーケット、宗教施設への長時間の滞在をしない、不審物に注意、テレビ、ラジオ、新聞等の情報に注意等)が必要。

11-2 強盗、盗難

(1)一般的治安状況

過去に日本人男性旅行者が、悪質旅行業者に殺害される事件が起きた。このような外国人旅行者をねらった事件のほかに、デリーでは、外国人を含む地元の裕福な家庭をねらった押し込み強盗や、路上強盗、殺人事件などが発生している。なお、テロはデリー市内(特にオールド・デリー)でも発生しており、留意が必要である。

(2)住宅の防犯対策

防犯対策については、個人レベルで注意し、油断さえしなければ、かなりの事故・犯罪を未然に防ぐことができると思われる。家屋などの防犯対策については、『安全対策の手引き』などを参考にし、日ごろから安全対策を意識して行動することが重要である。なお、近年デリーでは、一般住宅街で使用人がらみの犯罪(盗難がほとんど)が散発している。デリー警察では、使用人を新たに雇う場合、使用人の顔写真、住所、本籍を最寄りの警察に届け、身元確認することを勧めている。

空き巣などから家を守るには、セキュリティーをしっかりしているよう見せることが重要である。ガードマンを雇うのも有効である。窓の鉄格子などもインドでは必須である(内側に取り付ける)。また、室内機・室外機一体型のエアコンの場合、周囲の押さえがベニヤ板のみといった場合もあるので、強化する必要がある。なお、非常事態にどういう手順で誰に連絡するかといった詳細をきちんと決めておくことが大事である。

(3)市中での防犯対策

街角での犯罪としては、ひったくりがある。かばんをたすきがけにしていたため、

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

バイクに乗ったひったくりに引きずられて骨折したという事件もあった。かばんはふつうに肩からかけ、手前に抱くようにして警戒している様子を見せること。また、街中で不必要にかばんを開けないように注意する。

車に乗っている際の外部からの侵入や盗難事故などを防ぐために、ドアロックを徹底すること。

(4)注意すべき場所、危険地域

インドでは、従来型のテロが、政府機関、一般市民が集まる込み合った商店街、駅などで頻発するので注意する。また、不必要にそのような場所に行かないようにすることが大切である。不審なかばん、小包などにも注意すること。

(5)被害時の心得

強盗などに遭った場合は、決して抵抗しないこと。生命の安全第一で逆らわず、また、紛らわしい行動は一切せず、冷静に相手を刺激しないよう対応すること。

11-3 火災、風水害、地震

(1)一般的災害発生状況

デリーでは大きな災害は起こっていないが、雨季の降雨による道路の冠水などは日常茶飯事である。インド東海岸や南部では毎年サイクロンが襲来し、大きな被害が出ている。また、局所的に大規模な地震、地滑り、洪水、津波、旱魃等の被害もあるので防災対策を怠らないようにしたい。

(2)防災対策

災害時を想定し、米、ミネラルウォーター、缶詰、インスタント食品などの非常食や懐中電灯、マッチ、ろうそくなどを自宅に用意することが望ましい。

(3)被災時の心得

生命の安全を第一に考え、常にひとつ先の手を打つよう心がけることが大切である。

11-4 緊急連絡先電話番号

・日本大使館 :011-2687-6564/6581～3

・警察 :100

・消防 :101

・救急車 :102(ただし、公立病院に運ばれる)1099(最寄りの緊急病院)

12. 社交

12-1 風俗習慣

インドでは親しくなった場合の接待は、自分の家に招待することが多い。風習、習慣については、宗教、地域などにより大幅に異なる。また、菜食主義者も多いので、招待する時は招待客に食事の制限について確認すること。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

12-2 パーティーでの留意点

パーティーでは女性はサリー、パンジャビドレス、男性は背広、サファリスーツなどが一般的である。日本人の場合は、女性はワンピースかスーツ、男性は背広で十分である。

一般にパーティーの開始時間は19：30～20：00ころであり、それにともなって終わる時間も遅い。マナーなどは常識の範囲で判断すればよいが、会話については、宗教、カーストなどの話題は一般論を除いて避けたほうがよい。

12-3 禁止されている言動（タブー）

握手・受け渡しは左手を用いないほうが無難。

宗教的に牛は神聖な存在であるため、殺傷してはいけない。人により宗教的理由で食べられない食材があることを意識する必要有。

12-4 日本人会

下記の日本人会がある。

・デリー日本人会

http://www.delhinihonjinkai.in/

・バンガロール日本人会

http://www.bangalore-nihonjinkai.com/

・ムンバイ日本人会

http://mumbai-japan.in/

・チェンナイ日本人会

http://chennai.ina-ka.com/

・ハイデラバード日本人会

http://hydnihonjinkai.atukan.com/

12-5 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員同窓会がある。同窓会員はインド全体で約900人である。

12-6 現地の人々との交流

仕事上で親しくなったインド人から、親族の結婚式などに招かれることも多い。また、趣味や稽古の会で、現地の人々と交流の機会がある。

13. 教育

13-1 教育事情

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」9. 教育・文化

http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_09.htm

（1）一般事情

インドの教育制度は複雑であるが、基本的な構造は次のとおりである。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

・初等教育（8年 ：5～13歳）
・小学校（クラスI～V ：5～10歳）
・中学校（クラスVI～VIII ：11～13歳）
・中等教育（クラスIX～X ：14～15歳）
・高等中等教育（クラスXIからXII ：16～17歳）
・大学学部（3年間）

インドは、膨大な数の非識字者人口を抱える一方、数多くの優秀な人材を世界に輩出しており、高度な水準の教育機関も存在する。

（2）日本人学校

Yellow Page ニューデリー日本人学校小学校・中学校がある。

転入学の手続きは、在籍していた学校へ「ニュー・デリー日本人学校へ転出」と申し出て、必要な書類（在学証明書、指導要録の写し、健康診断票、歯の検査票）を保護者が直接持参して行い、必要書類を提出すると即日入学できる。また、教科書は海外子女教育振興財団に出向き、教科書給与証明書を提示して受け取る。

＜ニュー・デリー日本人学校＞

URL: http://www.ndjs.org/

（3）現地校、外国人学校

主な外国人学校は以下のとおり。連絡先等は日本人会の HP 参照

Yellow Page
・The American Embassy School
・The British School
・The German School in New Delhi
・Ecole Francaise de Delhi

（4）幼稚園

1995年度から日本人学校に幼稚園部が開設された。所在地および電話番号は、日本人学校と同様である。ニュー・デリー日本人学校付属幼稚園部の入園に関しては、定員（各25人）に余裕があれば、随時入園できる。しかし、定員を超えた場合、その後の入園希望者は待機となる。保護者とともに来園し、幼稚園で手続きをした段階で初めて正式な入園または待機と認められる。予約による待機はできない。

このほかにThe American Embassy School のECEC（Early Childhood Education Centre ：その年の9月1日までに3歳になる子供）、Kindergarten（その年の9月1日までに5歳になる子供）、The British School、German Schoolの幼稚園などもある。

また、現地の幼稚園は以下の例がある。連絡先等は日本人会の HP 参照。

Yellow Page
・Magic Year
・Step by Step
・Little Senator’s Nursery School
・Little Pearl

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

14. 家庭の使用人

14-1 一般事情

外国人の一般家庭で雇う使用人は、コック、運転手、ベアラー（家のなかの管理、雑務）、スイーパー（掃除人）、アヤ（子守）、ドビー（洗濯人）、マリー（庭師）、ハウスキーパー（家事一般）、チョキダール（門番・ガードマン）などで、各家庭で必要に応じて雇用している。最近は、雇用関係の煩わしさを避けるために、コック兼ベアラー、スイーパー兼ベアラー、アヤ兼ドビーと兼務で雇う家庭が増えている。ドビー、マリーのほとんどは、数軒をかけもちするパートである場合が多い。

チョキダールは、個人契約よりも会社契約による派遣、または大家が契約する場合が主である。また、自治会で巡回チョキダールを雇っている地区では、1戸あたりの負担となる。使用人を新規で雇用する場合には、試用期間を最低でも3カ月間設けているのがふつうである。その間に、使用人の能力と人柄を確かめ、最終的な決定は現地に滞在する日本人に相談して決めるのが望ましい。また、使用人を雇う場合には、使用人の顔写真、住所、本籍などを最寄りの警察署に届け、身元調査するよう、デリー警察は勧めている。また、トラブルを避けるためにも契約書を取り交わし、健康診断を受けさせるとよい。

14-2 運転手

（1）雇用

運転手の雇用は、帰国する日本人からの紹介が最も望ましい。それが不可能な場合は、信頼できるインド人の紹介により雇用するとよい。一般家庭では、新聞広告などにより運転手を募集することはまずない。選考方法としては、人からの紹介ではない運転手は採用しないこと。また、若い人は運転が荒いこともあるため、選考の対象から外すほうがよい。

（2）日常管理

毎日の走行距離を記録させ、雇用者がチェックすることが望ましい。また、その車の燃費をきちんとチェックし、燃料を管理する必要がある。また、スピードの出しすぎや割り込みなどを頻繁に行うようであれば、そのつど注意し、安全運転を徹底させることが必要である。

運転手は車中で待機することも仕事なので、待機中に勝手な行動をしないよう習慣づけることも必要である。また、サンダルでの運転は認めないほうが安全である。

（3）教育指導

注意すべき事柄があれば、相手に遠慮せずに、気がついた時点で的確に伝えることが肝要である。

（4）その他の留意点

ガソリンを転売するケースが多々あるので、使用量に注意し、ガソリンスタンド（Petrol Station）には、できる限り同行して給油量を確認することが望ましい。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

14-3 家政婦／夫

（1）仕事の種類と人数

「14-1 一般事情」の項を参照のこと。

（2）雇用

雇用方法は運転手と同じく、日本人から、あるいは信用できるインド人から紹介してもらうこと。新しく住居を決めると自薦、他薦のハウスキーパー、スイーパーが訪問してくるが、雇用しないほうがよい。これらの人々は、外国人の推薦状を持参してきたりするが、自作の可能性もあり信用できない。特に、家のなかで仕事に従事する使用人の採用には十分に注意し、滞在の長い日本人の意見を求めてから決定するほうがよい。

ボーナスは、1年分の就労に対して1カ月分の賃金を支給するのが基準となっている。本採用後1年を経過していない場合には、働いた月数に応じて支給する家庭が多い。ボーナスは、Diwali（10月下旬から11月上旬の富と幸運の女神ラクシュミーの祭り。）、Holi（3月の春の到来を祝う祭り）、クリスマスなどの特定の祭日に、まとめてあるいは分けて支給するのが一般である。

使用人を採用する際、特にコック、アヤ（子守）については健康診断を受けてもらったほうがよい（費用は雇用者の負担）。休日は週1回、昼休みは1～2時間程度が一般的である。

（3）日常管理

給与の前貸しは、原則的には認めないほうがよい。万が一、前貸しする場合は、最高でも1カ月分とするのが無難である。使用人の服装については、常に清潔に保たせるようにすること。また、使用人に対してユニフォームを年に1～2回支給する場合もあるが、ユニフォームの支給に要する金額は枚数に関係なく、最高でも1カ月分の給与以下となっている。

詳しくはデリー日本人会「デリー生活の手引き」6.家事補助者
http://www.delhinihonjinkai.in/funingo_06.htm

15. メディア

15-1 新聞、雑誌

（1）現地発行の日刊紙

インドには多くの英字新聞がある。代表的な新聞は「Times of India」、「Hindustan Times」などである。家庭への宅配は最寄りの新聞配達サービスに申し込み、購読料を月ごとに集金人に支払う。

（2）日本の日刊紙

Yellow Page 日本の新聞はOCS（詳細はイエローページを参照）により送付され、1日程度の遅れで到着する。

（3）欧米紙／誌

OCSを通じて購読可能。また、一部の欧米雑誌は、カーン・マーケットなど主

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

要マーケットの書店、雑誌スタンドでも販売されている。

(4)日本の雑誌、書籍

OCSなどを通じて購入する。現地の書店で直接購入することはできない。

15-2 テレビ

衛星放送があり、BBC、CNN、映画専用チャンネル、スポーツチャンネルなどが受信できる。衛星放送の受信については、最寄りの衛星放送受信店に申し込み、毎月受信料を集金人に支払う。

NHKワールドTV(NHKニュース、情報番組、文字によるニュース、世界の天気予報などNHKが行っている国際放送)は、デリー市内の一部地域のケーブルテレビなどでは受信可能である。また、他の地域でも、専用の大型受信アンテナとデジタル衛星チューナーを備えれば、無料で受信できる。アンテナおよびチューナーは現地で入手可能である。

＜NHKワールドTV問い合わせ先＞

NHK国際放送局企画編成部

所在地 :〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 :海外から :+81-3-3465-1111(平日／日本時間10:00～19:00)

日本国内から :0570-066066(NHK視聴者コールセンター／24時間受付)

E-mail :nhkworld@nhk.jp

＜番組表の入手＞

URL:http://www.nhk.or.jp/nhkworld/(週間番組表確認)

FAX :+81-3-5454-0888 情報番号258(週間番組表FAXサービス)

16. スポーツ、趣味、語学学習

16-1 スポーツ

(1)ゴルフ

主なゴルフ場として、次のものがある。

また、インド日本商工会のコンペがある。

・Delhi Golf Club(デリー・ゴルフクラブ)

・DLF Golf Club(DLFゴルフクラブ)

・Classic Golf Resort(クラシック・ゴルフリゾート)

・Golden Green Golf Club(ゴールデン・グリーンゴルフクラブ)

(2)テニス、フィットネス

日本人学校にはプールがある(日本人会水泳同好会会員と日本人学校父兄が利用可能)。ホテルや会員制クラブなどにもテニスコートやプール、その他のスポーツ施設がある。また、DDA Sports Complexなどのスポーツ施設でも、水泳、バドミントン、テニス、ローラースケートなどができる。

＜テニス＞

・Delhi Lawn Tennis Association(DLTA)(デリー・テニス協会)

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

・Ishwar Farm（イシュワル・ファーム）

＜水泳＞

・日本人学校屋内プール(日本人会水泳同好会会員もしくは学校父兄のみ利用可)

＜その他＞

・DDA Sports Complex（DDAスポーツ・コンプレックス）

このほか、ゴルフ、テニス・サッカー・バレーボールなどは日本人会の同好会がある。また、ハイアット・リージェンシーホテルなどに会員制クラブもある。

17. 観光

17-1 地方旅行の留意点

旅行の際は、航空券、列車の切符、ホテルなどすべて早めに予約し、かつ出発直前に予約の再確認を必ず行うこと。飛行機の場合は、オーバーブッキングがよくあるので、空港には遅くとも出発の1時間前に到着するようにし、早めに搭乗手続きを済ませたほうがよい。行き先によっては、搭乗手続きのあとに荷物チェックとなり、チェックをしていない荷物は機内に積み込んでくれないことがあるので、注意が必要である。空港の入場には写真付きID、ホテルのチェックインにはパスポートの提示が求められる。

その他の注意すべき点としては、貴重品は手に持つべきである。ただし、ポシェットなどにすべての貴重品を入れることは危険であり、分散して身につけたほうがよい。

クレジットカードも通用するが、カードを悪用されたケースがあるので、利用明細書の確認が必要である。

また、治安上の理由から、外国人の旅行が制限されている地域や許可証が必要な場所があり、注意が必要である。

外務省「海外安全ホームページ」（http://www.anzen.mofa.go.jp）などを参照のこと。

17-2 主要観光地・保養地

インドは古い歴史があり、国土も広いので観光地は数多くある。しかし、飛行機や列車などの遅延も多いので、時間に余裕を見ながら慎重に旅行計画を立てる必要がある。また、詳しい情報などは市販の観光ガイドブックを参照し、身近に経験者がいれば、アドバイスしてもらうのがよい方法である。

主な観光地は次のとおりである。

＜デリー市内＞

・Qutab Minar（クトゥブ・ミナール）

デリーの南郊外にそびえる高さ72.55mの塔（ミナール）。12世紀後半、奴隷王朝のスルタン、クトゥブディーン・アイバクが、デリーにあった最後のヒンズー王朝

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

を打倒し、ムスリム支配者として、初めて壮大な宮廷を営んだ。それらのうち、クトゥブ・ミナールは、ヒンズー教徒に対する勝利を記念して、1193年に建設された。

現在残っている塔は5階からなり、1～3階部分は赤砂岩、4～5階部分は大理石と砂岩で造られている。クトゥブディーン時代に造られたのは、1階部分だけで、その上は彼の後続者たちが増築、完成させたものである。1803年の地震により、最上部の円屋根が崩れたが、1829年に修復された。

・Lal Qila（ラール・キラ／Red Fort）

ラール・キラは「赤い砦」という意味であり、赤い砂岩の大城壁で囲まれているのでこのような名前がついた。1648年、アグラのタージ・マハルを築いたムガール王朝5代目のシャー・ジャハン王は、都をアグラから新都シャージャハナ・バード（シャー・ジャハン王の町、現在のオールド・デリー）に移したが、ラール・キラは、新都のなかの王城として8年をかけて完成された。城門が2つあり、南側がデリー門、正面がラホール門と呼ばれている。観光客はラホール門から入るが、内部はアーケードがあり現在は土産物店となっている。奥には3階建ての内門、Naubhat Khana（ナウバド・カーナ）がある。この門を入ると庭を隔てDiwan-e-Am（デワン・エ・アム）／Hall of Public Audienceがあり、これをさらに進むとDiwan-i-Khas（ディワニ・カーズ）／Hall of Private Audienceがある。そのほか、城内には、真珠のモスクと呼ばれているMoti Masjit（モティ・マスジット）／Pearl Mosque、浴室として使われたHammam（ハマーム）／Bathing Areaなどの建物がある。

そのほか、ラール・キラの向かい側にあるインド最大の回教寺院Jama Masjid（ジャマ・マスジット）、アグラのタージ・マハルの原形といわれるムガール王朝2代目の王フマユーンとその妃の墓であるHumayun's Tomb（フマユーン廟）などがある。

＜デリー近郊＞

ウッタル・プラデシュ州のアグラには世界5大観光名所の1つであるタージ・マハルがある。また、ラジャスタン州にはラージ・プート族ゆかりの地が点在し、マハラジャの城、宮殿などが数多く残されている（ジャイプール、ウダイプール、ジョドプール、ビカネール、ジャイサルメールなど）。デリーを北上すると、避暑地で有名なムスーリ、シムラなどがある。

18. 私財の輸送、引き取り、購入

18-1 家財道具

（1）輸入手続き

航空輸送の場合は、インディラ・ガンディー国際空港か任地の最寄りの国際空港へ送る。

（2）輸入貨物の受け取り港

海送の場合は、ムンバイあるいはコルカタとなる。海送の場合、日本積み出し

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

から引き取りまで2～3カ月ぐらいかかる。

18-2 自動車

(1)一般状況

1991年の新経済政策開始後、外国自動車資本の進出が著しく、現地生産車の性能も上がって種類も増えており、今後さらに新車種が市場に出回ることが予測される。メンテナンスやスペアパーツ入手を考えると、現地生産車の購入が望ましい。車を輸入する場合には、高率の輸入関税がかかる。中古車の輸入は規制が多く、ほとんど行われていない。

(2)現地での購入

現在、市場に出回っている現地生産主要乗用車、および外国資本車は、次のとおりである。

・スズキ
・現代
・GM
・三菱
・ホンダ
・フォード
・トヨタ
・TATA
・メルセデス・ベンツ
・日産

(3)自動車登録

現地購入車の場合も輸入車の場合も、自動車販売会社に依頼することになる。その際、住所証明が必要。

(4)免許証取得

日本で取得した国際免許はインドで使用可能。

(5)保険、税金

保険料は高いが、事故が多いため加入は必須である。車検制度は商業車のみに適用される(毎年車検を行うことが求められる)。一般車の場合、車検はない。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

Part 3 イエローページ

＊特に記載のない限り、JICA事務所のあるデリーの情報が中心になっています。

1.JICA 事務所

所在地	2nd Floor, Dr. Gopal Das Bhawan, 28, Barakhamba Road, New Delhi -110001, INDIA
TEL/FAX	TEL：+91（インド国番号）-11-4768-5500　FAX：+91-11-4768-5555
URL/E-mail	http://www.jica.go.jp/india/index.html

2.日本大使館

所在地	50-G, Chanakyapuri, New Delhi
TEL/FAX	TEL：+91-11-2687-6564/6581～3 FAX：+91-11-2688-5587

3.緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL：2687-6564/6581～3
警察	TEL：100
消防	TEL：101
救急車	TEL：102（ただし、公立病院に運ばれる） 1099（最寄りの緊急病院）

4.ホテル

＊通常、宿泊料金にはHotel Expenditure Tax（デリーでは12.5%）が加算され、食事には8%のSales Taxが加算される（料金は、2003年4月現在のレート）。なお、下記のホテルはすべて主要なクレジットカード（VISA、MasterCard、American Express）が利用可能。

＜高級ホテル＞

■The Metropolitan Hotel （メトロポリタン・ホテル）
Bangla Sahib Road
TEL：42500200 FAX：42500300
URL：http://hotelmetdelhi.com/　E-mail：info@hotelmetdelhi.com
料金（シングル/ダブル）：10000/10000 + tax Rs.

■The Park（パーク・ホテル）
15 Parliament Street
TEL：23743000 FAX：23744000
URL：http://www.theparkhotels.com E-mail：resv.del@theparkhotels.com
料金（シングル/ダブル）：12000/13000Rs.

■Taj Mahal（タージ・マハル・ホテル）
Number One Mansingh Road
New Delhi - 110 011,India.
TEL：23026162,Fax:23026070
URL：http://www.tajhotels.com E-Mail: mahal.delhi@tajhotels.com
Publish Tariff:(シングル/ダブル)16000/17500 (+ tax)

■Shangri-la Eros Hotel（シャングリラ・エロス・ホテル）
19-Ashok Road, New Delhi-110001
TEL：4119-1919 FAX：4119-1988
URL：http://www.shangri-la.com/jp/newdelhi/erosshangrila/
料金（シングル/ダブル）：11000 / 13000（+ Tax）

5.レストラン

＜日本料理＞

■TAMURA グリーンパーク店
S-16, Green Park Extn. Market, Upohar Commercial Complex
TEL：3653-5868

■TAMURA ニューフレンズコロニー店
21, Community Center New Friends colony, 1st Floor, opposite Lotus Tower
TEL：4167-2559

■SAKURA
Bangla Sahib Road（メトロポリタンホテル内）
TEL：52500200

■WASABI
Number One Mansingh Road(タージマハルホテル内)
TEL：23026162

＜インド料理＞

■Bukhara（ブカラ）
Sadar Patel Marg（モーリア・シェラトンホテル内）
TEL：2611-2233
タンドール料理

■Sagar Ratna（サガール・ラトナ）

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

50-B, Chanakyapuri（Ashok Hotel 内）
TEL：2611-0101
南インド・ベジタリアン料理

■Saravana Bhavan(サラバナ・ババン)
46, Janpath, Connaught Place
TEL： 2331-7755
南インド・ベジタリアン料理

■Karim（カリーム）
Gali Kababiyan Matia Mahal（ジャママスジットのそば）
TEL：2326-9880
ムガール料理の老舗

＜中国料理＞

■Oriental Bloom（オリエンタル・ブルーム）
Khel Gaon Marg（Ansal Plaza 内 3F）
TEL：2626-5444

■Taipan（タイパン）
Dr. Zakir Hussain Marg（オベロイホテル内）
TEL：2436-3030

■Mainland China（メインランド・チャイナ）
Plot No. 4, Local Shopping Centre, Masjid Moth, GK-II
TEL： 4053-5525

■Nang King（南京酒家）
C6, Local Shopping Complex, Opposite Delhi Public School, Vasant Kunji
TEL： 2613-8938

■Golden Phoenix（ゴールデン・フェニックス）
Windsor Place, Janpath（メリディアンホテル内）
TEL：2371-0101

■House of Ming（ハウス・オブ・ミン）
No.1, Man Singh Rord（タージ・マハルホテル内）
TEL：2302-6162

■Royal China（エンプレス・オブ・チャイナ）
Intercontinental Eros, Nehru Place
TEL：2622-3344

■Fujiya（フジヤ）
12/48, Malcha Marg Shopping Centre, Malcha Marg, Chanakyapuri
TEL： 2611-4209

■Akasaka（アカサカ）
28, Defence Colony Market,
TEL： 2433-3821

6.食料品の入手先

＜市場＞

■I.N.A. Market（アイ・エヌ・エイ・マーケット）
I.N.A.フライオーバー近く 、メトロイエローライン INA 駅近く
しょうゆ、外国製ジャム、外国製マヨネーズ、缶詰、パスタ類。その他、野菜、果物、鶏肉、マトン、魚類などが豊富。

■Sarojini Nagar Market（サロジニ・ナガール・マーケット）
Sarojini Nagar
野菜、果物など

■Khan Market（カーン・マーケット）
メトロバイオレットライン Khan Market 駅
野菜、果物、鶏肉、マトン、外国製缶詰、ベーコン、ハムなど。

■Defence Colony Market（ディフェンス・コロニー・マーケット）
Defence Colony
野菜、果物、鶏肉、マトンなど

＜スーパーマーケット＞

■Modern Basar（モダン・バサール）
Basant Lok マーケット内
しょうゆ、缶詰、ブータン米が購入可能

■Le Mache（ル・マルシェ）
58 Basant Lok マーケット内
生鮮食品、雑貨など

■Yamato-ya（大和屋）
B6/9, Local Commercial Comlex, Safdarjung Enclve
TEL：4165-0164～5
10：00～19：30（年中無休）

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

日本式スーパーマーケット（日本製食料品）

7.ショッピングモール

■Metropolitan Mall
Gurgaon、メトロイエローライン M.G.ロード駅近く
MG ロード沿いには Metropolitan Mall 以外にもいくつものショッピングモールが並ぶ

■Select City Walk
Saket、メトロイエローラインマルヴィヤナガル駅近く
複合型巨大ショッピングモール

■Ambience Mall, DLF Emporio, DLF Prommnade
Vasant Kunj
複合型巨大ショッピングモール

■Ansal Plaza
Khel Gaon Marg
食器、調理器具、化粧品、衣料品、宝石など。食器、調理器具は、同デパート内の Shoppers Stop（ショッパーズ・ストップ）という店で購入できる。

8.金融機関

■三菱東京 UFJ 銀行
Jeevan Vihar, 3, Parliament Street
TEL：4100-3456/4567

■Citibank
Jeevan Bharati Build., Connaught Circus
TEL：4254-5557

9.レンタカー会社

■ORIX Auto and Business Solutions Ltd
31-33, Central Market, West avenue road, Punjabi Bagh (west) New Delhi-110026
TEL：25220950

10.国際宅配サービス

■OCS New Delhi Office
OCS House, A-10, C-Block, Community Centre, Naraina Vihar, New Delhi
TEL：2577-7054, 2577-7046

11.教育機関

＜日本人学校＞

■ニュー・デリー日本人学校（Japanese School I,New Delhi）
Pocket B &C, Sector-A, Vasant Kunj New Delhi
TEL：2689-1230/6816
URL：http://www.ndjs.org/　E-mail：japaneseschool@airtelmail.in

＜外国人学校＞

■The American Embassy School
Chandragupta Marg, Chanakyapuri
TEL：2687-3320
URL：http://aes.ac.in

■The British School
Dr. Jose P. Rizal Marg, Chanakyapuri
TEL：4066-4166
URL：http://www.british-school.org/index.php　E-mail：thebritishschool@british-school.org
使用言語：英語
幼稚園から高校まで。

■The German School in New Delhi
2, Nyaya Marg
TEL：41680240
URL：http://www.dsnd.de/
使用言語：ドイツ語
3 歳から 10 歳まで。

■Ecole Francaise de Delhi
2, Aurangzeb Road, Chanakyapuri
TEL：3041-0090
URL：http://www.efdelhi.org/　E-mail：efd@ndb.vsnl.net.in
使用言語：フランス語

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency

幼稚園から高校２年まで。

＜幼稚園＞

■ニュー・デリー日本人学校付属幼稚園部
Pocket B &C, Sector-A, Vasant Kunj New Delhi
TEL：2689-1230、2689-6816
URL：http://www.ndjs.org/　E-mail：japaneseschool@airtelmail.in

■Magic Year　E-3,Vasant Vihar
TEL：2614-0317
使用言語：英語
２歳半から。

■Step by Step　Plot No.1,Panchsheel Cooperative Building Society N Block,Panchsheel Park
TEL：2646-3130、2621-3957
使用言語：英語
２歳半～4 歳。

■Little Senator's Nursery School
B-3 Street, Vasant Vihar
TEL：2615-3196
1.5 歳～5 歳。

12.日本の新聞、出版物の購入

■海外新聞普及（株）（OCS）輸出購読サービス
〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13
TEL：03-5476-8131 FAX：03-3453-8091
URL：http://www.ocs.co.jp/ E-mail：subs@ocs.co.jp

13.スポーツ施設

＜テニス＞

■Delhi Lawn Tennis Association（DLTA）（デリー・テニス協会）
Africa Avenue（opp. RK Pram Sector2）
TEL：2617-6140

■Ishwar Farm（イシュワル・ファーム）
C-2/2308, Vasant Kunj
TEL：2612-2950/4196

＜水泳＞

■日本人学校屋内プール
Pocket B/C, Sector A, Vasant Kunj 日本人学校内
日本人会水泳同好会がある。

＜その他＞

■DDA Sports Complex（DDA スポーツ・コンプレックス）
Siri Fort（シリフォート）および Saket（サケット）
TEL：26443657（Siri Fort）、29561742（Saket）
水泳、バドミントン、ローラースケートなどができる。

All Rights Reserved, Copyright(c) 2013 Japan International Cooperation Agency